

データヘルス計画 健康課題新旧対照表

| 改正前 | 改正後 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|------|-------------------|---|-------------|---|-------------------------------|--|--------------------------------|--|-------------------|--|---|----|------|-------------------|--|-------------|--|-------------------------------|---|--------------------------------|---|-------------------|--|
| <p>第3章 健康課題</p> <p>二戸市の健康課題は表 14 にまとめている。特に1～4については、重点的かつ優先的に対策に取り組む必要がある。</p> <p>【重点課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特定健康診査の実施と受診率向上 2 特定保健指導の実施 3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策 4 糖尿病の重症化予防対策 <p>表 14.二戸市の健康課題</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 85%;">健康課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 特定健康診査の実施と受診率向上</td> <td>特定健康診査受診率は、<u>平成28年度 40.6%</u>で、全国平均の<u>36.4%</u>よりは高いものの、岩手県平均の<u>43.4%</u>を下回っていた。 <u>本年度のポスター掲示や電話勧奨等の取組により43.5%まで上昇する見込みである。</u> <u>今後さらに受診率を向上させるため、市全域で健診会場や日程の見直し等のほか、重点地区や未受診者向けに国保ヘルスアップ事業による受診勧奨や健康マイレージ事業の取組を進めるなど、特定健康診査受診率の向上を図る必要がある。</u></td> </tr> <tr> <td>2 特定保健指導の実施</td> <td>特定保健指導実施率は計画目標を達成した。<u>一方、前年度利用者で翌年度対象者でなくなった人の割合が減少</u>してきている。 今後も実施率を維持するため、特定健康診査会場、家庭訪問による利用勧奨をし、栄養講話・運動実技を組み合わせた集団指導を実施する。 また、指導の質を高めるために指導者のスキルアップを図り、指導能力を高める取組を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策（高血圧症・脂質異常症）</td> <td>疾病分類別医療費の状況において、循環器系の疾患が最も高い。中でも、脳血管疾患、虚血性心疾患が高く、<u>リスク</u>である高血圧、脂質異常の予防が必要である。 また、脳卒中と心疾患の予防に関する知識や<u>減塩</u>について広く普及し、特定健康診査受診者のうち高血圧、脂質異常の人に適切な受療勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、その後の未治療者を抽出し保健指導を行い、重症化しないよう支援する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>4 糖尿病の重症化予防対策（糖尿病・糖尿病性腎症・人工透析）</td> <td>特定健康診査によるHbA1cの有所見率が男女ともに岩手県を上回っていることから、糖尿病に関する正しい知識と予防のための普及啓発必要である。 特定健康診査結果のHbA1c7.0%以上の未治療者は、<u>男性 31名、女性 19名</u>となっている。また、高額医療費に占める腎不全の割合も高いことから、クレアチニン（eGFR）の検査を用いて対象者を抽出し、早期に保健指導を行い、<u>同時に医療機関への受療勧奨を行うこと</u>で適切な医療につなぎ、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。</td> </tr> <tr> <td>5 がん検診の実施と受診状況の把握</td> <td>高額医療費に占めるがん疾患の割合が高いことから、早期発見、早期治療につなげるため、検診の受診勧奨が必要である。 また、市全体の受診数にとどまらず、被保険者の受診率を高めていく必要がある。</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 健康課題 | 1 特定健康診査の実施と受診率向上 | 特定健康診査受診率は、 <u>平成28年度 40.6%</u> で、全国平均の <u>36.4%</u> よりは高いものの、岩手県平均の <u>43.4%</u> を下回っていた。 <u>本年度のポスター掲示や電話勧奨等の取組により43.5%まで上昇する見込みである。</u> <u>今後さらに受診率を向上させるため、市全域で健診会場や日程の見直し等のほか、重点地区や未受診者向けに国保ヘルスアップ事業による受診勧奨や健康マイレージ事業の取組を進めるなど、特定健康診査受診率の向上を図る必要がある。</u> | 2 特定保健指導の実施 | 特定保健指導実施率は計画目標を達成した。 <u>一方、前年度利用者で翌年度対象者でなくなった人の割合が減少</u> してきている。 今後も実施率を維持するため、特定健康診査会場、家庭訪問による利用勧奨をし、栄養講話・運動実技を組み合わせた集団指導を実施する。 また、指導の質を高めるために指導者のスキルアップを図り、指導能力を高める取組を行う必要がある。 | 3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策（高血圧症・脂質異常症） | 疾病分類別医療費の状況において、循環器系の疾患が最も高い。中でも、脳血管疾患、虚血性心疾患が高く、 <u>リスク</u> である高血圧、脂質異常の予防が必要である。 また、脳卒中と心疾患の予防に関する知識や <u>減塩</u> について広く普及し、特定健康診査受診者のうち高血圧、脂質異常の人に適切な受療勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、その後の未治療者を抽出し保健指導を行い、重症化しないよう支援する必要がある。 | 4 糖尿病の重症化予防対策（糖尿病・糖尿病性腎症・人工透析） | 特定健康診査によるHbA1cの有所見率が男女ともに岩手県を上回っていることから、糖尿病に関する正しい知識と予防のための普及啓発必要である。 特定健康診査結果のHbA1c7.0%以上の未治療者は、 <u>男性 31名、女性 19名</u> となっている。また、高額医療費に占める腎不全の割合も高いことから、クレアチニン（eGFR）の検査を用いて対象者を抽出し、早期に保健指導を行い、 <u>同時に医療機関への受療勧奨を行うこと</u> で適切な医療につなぎ、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。 | 5 がん検診の実施と受診状況の把握 | 高額医療費に占めるがん疾患の割合が高いことから、早期発見、早期治療につなげるため、検診の受診勧奨が必要である。 また、市全体の受診数にとどまらず、被保険者の受診率を高めていく必要がある。 | <p>第3章 健康課題</p> <p>二戸市の健康課題は表 14 にまとめている。特に1～4については、重点的かつ優先的に対策に取り組む必要がある。</p> <p>【重点課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 特定健康診査の実施と受診率向上 2 特定保健指導の実施 3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策 4 糖尿病の重症化予防対策 <p>表 14.二戸市の健康課題</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 85%;">健康課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 特定健康診査の実施と受診率向上</td> <td>特定健康診査受診率は、<u>令和元年度47.8%</u>で、全国平均の<u>37.7%を大幅に上回っている</u>ものの、岩手県平均の<u>48.1%</u>を大幅に下回っていた。 <u>受診勧奨はがきの送付や電話勧奨等の取組を継続して来たが、受診率の上昇が頭打ちとなっている状況である。</u> <u>今後、受診率を向上させるため、特に受診率の低い40～44歳及び45～49歳に対し勧奨を実施するほか、必要な対象者へは保健師の訪問による勧奨を実施するなど、対象者別に効率的な勧奨を実施し、特定健康診査受診率の向上を図る必要がある。</u></td> </tr> <tr> <td>2 特定保健指導の実施</td> <td>特定保健指導実施率は計画目標を達成して<u>おり</u>、前年度利用者で翌年度対象者でなくなった人（<u>の割合</u>）も<u>増加</u>している。 今後も実施率を維持するため、特定健康診査会場、家庭訪問による利用勧奨をし、栄養講話・運動実技を組み合わせた集団指導を実施する。 また、指導の質を高めるために指導者のスキルアップを図り、指導能力を高める取組を行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策（高血圧症・脂質異常症）</td> <td>疾病分類別医療費の状況において、循環器系の疾患が最も高い。中でも、脳血管疾患、虚血性心疾患が高く、<u>要因</u>である高血圧、脂質異常の予防が必要である。 また、脳卒中と心疾患の予防のため、<u>高血圧、脂質異常症に関する正しい知識と減量、減塩、カリウム摂取、運動等</u>の予防方法を広く普及し、特定健康診査受診者のうち高血圧、脂質異常の人に適切な受療勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、その後の未治療者を抽出し保健指導を行い、重症化しないよう支援する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>4 糖尿病の重症化予防対策（糖尿病・糖尿病性腎症・人工透析）</td> <td>特定健康診査によるHbA1cの有所見率が男女ともに岩手県を上回っていることから、糖尿病に関する正しい知識と予防のための普及啓発<u>を図る必要</u>がある。 特定健康診査結果のHbA1c7.0%以上の未治療者は、<u>男性 13名、女性 9名</u>となっている。また、高額医療費に占める腎不全の割合も高いことから、クレアチニン（eGFR）の検査を用いて対象者を抽出し、早期に保健指導を行う<u>とともに医療機関での</u>適切な医療につなぎ、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。</td> </tr> <tr> <td>5 がん検診の実施と受診状況の把握</td> <td>高額医療費に占めるがん疾患の割合が高いことから、早期発見、早期治療につなげるため、検診の受診勧奨が必要である。 また、市全体の受診率向上を図り、<u>国保被保険者の受診率を高めていくための、状況把握・取り組みを実施する。</u></td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 健康課題 | 1 特定健康診査の実施と受診率向上 | 特定健康診査受診率は、 <u>令和元年度47.8%</u> で、全国平均の <u>37.7%を大幅に上回っている</u> ものの、岩手県平均の <u>48.1%</u> を大幅に下回っていた。 <u>受診勧奨はがきの送付や電話勧奨等の取組を継続して来たが、受診率の上昇が頭打ちとなっている状況である。</u> <u>今後、受診率を向上させるため、特に受診率の低い40～44歳及び45～49歳に対し勧奨を実施するほか、必要な対象者へは保健師の訪問による勧奨を実施するなど、対象者別に効率的な勧奨を実施し、特定健康診査受診率の向上を図る必要がある。</u> | 2 特定保健指導の実施 | 特定保健指導実施率は計画目標を達成して <u>おり</u> 、前年度利用者で翌年度対象者でなくなった人（ <u>の割合</u> ）も <u>増加</u> している。 今後も実施率を維持するため、特定健康診査会場、家庭訪問による利用勧奨をし、栄養講話・運動実技を組み合わせた集団指導を実施する。 また、指導の質を高めるために指導者のスキルアップを図り、指導能力を高める取組を行う必要がある。 | 3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策（高血圧症・脂質異常症） | 疾病分類別医療費の状況において、循環器系の疾患が最も高い。中でも、脳血管疾患、虚血性心疾患が高く、 <u>要因</u> である高血圧、脂質異常の予防が必要である。 また、脳卒中と心疾患の予防のため、 <u>高血圧、脂質異常症に関する正しい知識と減量、減塩、カリウム摂取、運動等</u> の予防方法を広く普及し、特定健康診査受診者のうち高血圧、脂質異常の人に適切な受療勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、その後の未治療者を抽出し保健指導を行い、重症化しないよう支援する必要がある。 | 4 糖尿病の重症化予防対策（糖尿病・糖尿病性腎症・人工透析） | 特定健康診査によるHbA1cの有所見率が男女ともに岩手県を上回っていることから、糖尿病に関する正しい知識と予防のための普及啓発 <u>を図る必要</u> がある。 特定健康診査結果のHbA1c7.0%以上の未治療者は、 <u>男性 13名、女性 9名</u> となっている。また、高額医療費に占める腎不全の割合も高いことから、クレアチニン（eGFR）の検査を用いて対象者を抽出し、早期に保健指導を行う <u>とともに医療機関での</u> 適切な医療につなぎ、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。 | 5 がん検診の実施と受診状況の把握 | 高額医療費に占めるがん疾患の割合が高いことから、早期発見、早期治療につなげるため、検診の受診勧奨が必要である。 また、市全体の受診率向上を図り、 <u>国保被保険者の受診率を高めていくための、状況把握・取り組みを実施する。</u> |
| 項目 | 健康課題 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 特定健康診査の実施と受診率向上 | 特定健康診査受診率は、 <u>平成28年度 40.6%</u> で、全国平均の <u>36.4%</u> よりは高いものの、岩手県平均の <u>43.4%</u> を下回っていた。 <u>本年度のポスター掲示や電話勧奨等の取組により43.5%まで上昇する見込みである。</u> <u>今後さらに受診率を向上させるため、市全域で健診会場や日程の見直し等のほか、重点地区や未受診者向けに国保ヘルスアップ事業による受診勧奨や健康マイレージ事業の取組を進めるなど、特定健康診査受診率の向上を図る必要がある。</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 特定保健指導の実施 | 特定保健指導実施率は計画目標を達成した。 <u>一方、前年度利用者で翌年度対象者でなくなった人の割合が減少</u> してきている。 今後も実施率を維持するため、特定健康診査会場、家庭訪問による利用勧奨をし、栄養講話・運動実技を組み合わせた集団指導を実施する。 また、指導の質を高めるために指導者のスキルアップを図り、指導能力を高める取組を行う必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策（高血圧症・脂質異常症） | 疾病分類別医療費の状況において、循環器系の疾患が最も高い。中でも、脳血管疾患、虚血性心疾患が高く、 <u>リスク</u> である高血圧、脂質異常の予防が必要である。 また、脳卒中と心疾患の予防に関する知識や <u>減塩</u> について広く普及し、特定健康診査受診者のうち高血圧、脂質異常の人に適切な受療勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、その後の未治療者を抽出し保健指導を行い、重症化しないよう支援する必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 糖尿病の重症化予防対策（糖尿病・糖尿病性腎症・人工透析） | 特定健康診査によるHbA1cの有所見率が男女ともに岩手県を上回っていることから、糖尿病に関する正しい知識と予防のための普及啓発必要である。 特定健康診査結果のHbA1c7.0%以上の未治療者は、 <u>男性 31名、女性 19名</u> となっている。また、高額医療費に占める腎不全の割合も高いことから、クレアチニン（eGFR）の検査を用いて対象者を抽出し、早期に保健指導を行い、 <u>同時に医療機関への受療勧奨を行うこと</u> で適切な医療につなぎ、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 がん検診の実施と受診状況の把握 | 高額医療費に占めるがん疾患の割合が高いことから、早期発見、早期治療につなげるため、検診の受診勧奨が必要である。 また、市全体の受診数にとどまらず、被保険者の受診率を高めていく必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 健康課題 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 特定健康診査の実施と受診率向上 | 特定健康診査受診率は、 <u>令和元年度47.8%</u> で、全国平均の <u>37.7%を大幅に上回っている</u> ものの、岩手県平均の <u>48.1%</u> を大幅に下回っていた。 <u>受診勧奨はがきの送付や電話勧奨等の取組を継続して来たが、受診率の上昇が頭打ちとなっている状況である。</u> <u>今後、受診率を向上させるため、特に受診率の低い40～44歳及び45～49歳に対し勧奨を実施するほか、必要な対象者へは保健師の訪問による勧奨を実施するなど、対象者別に効率的な勧奨を実施し、特定健康診査受診率の向上を図る必要がある。</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 特定保健指導の実施 | 特定保健指導実施率は計画目標を達成して <u>おり</u> 、前年度利用者で翌年度対象者でなくなった人（ <u>の割合</u> ）も <u>増加</u> している。 今後も実施率を維持するため、特定健康診査会場、家庭訪問による利用勧奨をし、栄養講話・運動実技を組み合わせた集団指導を実施する。 また、指導の質を高めるために指導者のスキルアップを図り、指導能力を高める取組を行う必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 脳卒中、心疾患の重症化予防対策（高血圧症・脂質異常症） | 疾病分類別医療費の状況において、循環器系の疾患が最も高い。中でも、脳血管疾患、虚血性心疾患が高く、 <u>要因</u> である高血圧、脂質異常の予防が必要である。 また、脳卒中と心疾患の予防のため、 <u>高血圧、脂質異常症に関する正しい知識と減量、減塩、カリウム摂取、運動等</u> の予防方法を広く普及し、特定健康診査受診者のうち高血圧、脂質異常の人に適切な受療勧奨を行うことにより治療に結びつけるとともに、その後の未治療者を抽出し保健指導を行い、重症化しないよう支援する必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4 糖尿病の重症化予防対策（糖尿病・糖尿病性腎症・人工透析） | 特定健康診査によるHbA1cの有所見率が男女ともに岩手県を上回っていることから、糖尿病に関する正しい知識と予防のための普及啓発 <u>を図る必要</u> がある。 特定健康診査結果のHbA1c7.0%以上の未治療者は、 <u>男性 13名、女性 9名</u> となっている。また、高額医療費に占める腎不全の割合も高いことから、クレアチニン（eGFR）の検査を用いて対象者を抽出し、早期に保健指導を行う <u>とともに医療機関での</u> 適切な医療につなぎ、糖尿病性腎症の悪化を遅延させる必要がある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 がん検診の実施と受診状況の把握 | 高額医療費に占めるがん疾患の割合が高いことから、早期発見、早期治療につなげるため、検診の受診勧奨が必要である。 また、市全体の受診率向上を図り、 <u>国保被保険者の受診率を高めていくための、状況把握・取り組みを実施する。</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |